



2022/2023 Technical Committee および Sport Technical Director による明確化

Q&A 2022/23 No. 1

ジャンプに関する明確化

スケーターが、表内ジャンプ+1Eu+同じ足でのスリー・ターン+アクセル型ジャンプ を実施した。この場合、ジャンプ・コンビネーションとしてみなされ、“表内ジャンプ+1Eu+アクセル型ジャンプ” とコールされる。

例：3F+1Eu+同じ足でのスリー・ターン+2A は、3F+1Eu+2A とコールされる。

2つまたは3つの表内ジャンプの間で意図された1回のスリー・ターン、ロッカー、カウンター、またはブラケットが行われた場合、ジャンプ・コンビネーションの枠組みが維持される。意図されたターンに対する GOE の減点はない。

表内ジャンプ+1回の意図されたチェンジ・エッジ+反対の回転方向への表内ジャンプ を実施した。この場合、ジャンプ・コンビネーションとみなされる。

例：3S+チェンジ・エッジ+反対方向への2S は、3S+2S とコールされる。

ジャンプ・コンビネーションにおいて両方向へのジャンプが実施された場合、ジャンプ間での1回のチェンジ・エッジは許される。

意図されたチェンジ・エッジに対する GOE の減点はない。

シングル／アドバンス・ノービスにおけるボーナスについて。

スケーターが 2A+2T を実施し 2T で転倒した。

この場合、2A にボーナス得点がつく。



2022/2023 Technical Committee および Sport Technical Director による明確化

Q&A 2022/23 No. 2

スピンに関する明確化

同じスピンにおける難しい入り方と出方について。

難しい入り方と難しい出方の両方の特徴を獲得するためには、それぞれ異なるスピンで実施されなければならない。例：レイバック・スピンにおいて、難しい入り方、サイドからバックへの姿勢変更、アップライト・レイバックのバリエーション、アップライト・ビールマンのバリエーション、難しい出方を実施した場合、テクニカル・パネルはこのスピンでレベル 4 を獲得するための特徴として、難しい出方をカウントすることができる。これら全 5 つの特徴は、以降のスピンでは used となる。スケーターがウィンドミルを難しい入り方として実施した場合、（その後の）難しい出方で実施されたウィンドミルは、2 回目に試みられたウィンドミルの動作につき used となるため、特徴として獲得できない。

フライング・エントリーの難しいバリエーションと難しい入り方は 2 つの異なる特徴である。
フライング・エントリーの難しいバリエーションと難しい出方は、同じスピンで獲得できる。

シット姿勢またはキャメル姿勢でのただちに続けて行う両方向のスピンについて。
同じ足で両方向へのスピンを実施する場合、方向転換の際に 1 回のターンまたは 1 回のチェンジ・エッジを行うことは許される。その特徴は、実施した足でカウントされる。



2022/2023 Technical Committee および Sport Technical Director による明確化

Q&A 2022/23 No. 3

テクニカル・パネルのコール手順に関する明確化

要素中に転倒があった場合は、“Fall （フォール）” “例：3F，フォール” とコールする。

要素外で転倒があった場合は、“Fall outside （フォール・アウトサイド）” とコールする。